

【第 2 号議案】**令和 5 年度事業計画（案）及び収支予算（案）等について****1 令和 5 年度事業計画（案）****（1）会議の開催****①実行委員会**

第 8 回 令和 5 年 7 月頃

経過報告、令和 4 年度事業報告及び収支決算、実施計画（素案） 等

第 9 回 令和 6 年 1 月頃

経過報告、実施計画（案） 等

第 10 回 令和 6 年 3 月頃（書面）※県議会議決後

令和 6 年度事業計画（案）及び収支予算（案）

②幹事会

第 7 回 令和 5 年 6 月頃

第 8 回 令和 5 年 1 2 月頃

第 9 回 令和 6 年 2 月頃

③専門委員会

◇式典等専門委員会【継続】

◇森林資源循環利用専門委員会【継続】

（2）実施計画の検討

基本計画に基づき、さらに詳細な実施計画を検討。（令和 4 年度から継続）

第 8 回総会（令和 5 年 7 月頃）で実施計画（素案）、第 9 回総会（令和 6 年 1 月頃）で実施計画（案）を審議後、（公社）国土緑化推進機構特別委員会（令和 6 年 1 月下旬予定）で決定予定。

（3）開催準備業務の推進

令和 6 年春の開催に向け次の業務を推進するとともに、引き続き関係者と調整を行っていく。

①御座所等の制作

天皇皇后両陛下にお座りいただく御座所、CLTゲート、プランターカバー等を県産ヒノキを用いて制作。

②式典運営等の準備

プロローグ、記念式典、エピローグの演出内容や出演者等を決定するとともに、出演者説明会等を実施。

③招待管理及び宿泊・輸送等の準備

安全で円滑な招待管理、宿泊・輸送及び受付業務を関係者と調整を行いながら推進するとともに、安心して参加いただけるよう衛生対策、警備体制等を関係機関と調整。

④第74回全国植樹祭岡山県実施本部（仮称）の設置

大会の円滑な運営を図るための実行組織として、「第74回全国植樹祭岡山県実施本部（仮称）」を令和5年秋頃に設置。

⑤各種マニュアルの作成

円滑な業務遂行に必要な式典運営マニュアル等の各種マニュアルを作成。

（4）開催機運醸成に向けた取組

開催機運の醸成を図る各種取組を実施。

①周期イベント

	時期	場所
1年前	令和5(2023)年5月20日	西大寺緑花公園・百花プラザ(岡山市)
200日前	令和5(2023)年10月頃	おかやまファーマーズ・マーケット ノースウイレッジ(勝央町)
100日前	令和6(2024)年2月頃	「五味の市」周辺広場(備前市)

②地域植樹

令和4年度に引き続き地域植樹を県内5箇所を実施。

時期	場所	
令和5(2023)年秋頃	9月頃	恩原高原(鏡野町)
	10月頃	大佐山大日高原(新見市)
	10月頃	おかやまファーマーズ・マーケット ノースウイレッジ(勝央町)
	11月頃	ウッドパーク声ヶ峠(津山市)
	11月頃	高梁市市有林(高梁市)

③全市町村参画による記念植樹

県内市町村において記念植樹を実施。

【場所】各市町村の公共施設等

【内容】記念植樹

④「木製地球儀」の巡回展示

大会のシンボルである「木製地球儀」を県施設及び県内市町村で巡回展示。

⑤カウントダウンボードお披露目及び点灯式の開催

県立岡山工業高等学校で、県産木材を使用したカウントダウンボードを制作するとともに、式典開催日の決定後、カウントダウンボードを県庁県民室や岡山市役所でお披露目を行うとともに、点灯式を開催。

⑥機運醸成活動の実施

各種イベントにPRブースを出展するとともに、緑・森をテーマにした読み聞かせを県内の図書館等で実施。

⑦広報活動

第74回全国植樹祭大会ポスター、公式ホームページ及び広報誌など様々な媒体を通じて取組を情報発信するとともに、ロゴマークを活用したのぼり旗やチラシなどの広報啓発品の制作や各種イベント等を通じたPRにより、全国植樹祭の開催に向けた気運を醸成。また、年2回発行する「全国植樹祭だより」を通じて、開催準備状況等を周知。

- ・第74回全国植樹祭大会ポスター掲示による県内外での大会PR
- ・公式ホームページやSNS等による情報発信
- ・新聞、ラジオ、テレビ等を活用した大会PR
- ・ロゴマークを活用した広報活動の展開
- ・各種イベントの参加者に対し、県産材を活用した啓発資材の配付
- ・全国植樹祭だよりを通じた最新情報の周知

⑧協賛活動

大会を成功へと導き、一過性のイベントとして終わらせることなく、県民をはじめとする多くの方々の心に残る実り多いものとするためには、企業・団体等の皆様の御協力がなくてはならないものと考えており、この大会の趣旨に御賛同いただくとともに、広く御支援・御協力をお願いするもの。

⑨応援事業の募集

大会の開催理念に賛同し、開催周知や機運醸成、開催成果の継承に協力してもらえる事業を募集し、ホームページでの紹介や広報資材の貸出し等を行う。

2 令和5年度収支予算（案）

（1）収入の部 （千円）

区 分	予 算 額	摘 要
1 負担金	90,716	岡山県負担金
2 諸収入	0	
3 協賛繰入金	11,730	令和4年度協賛金積立金から繰入れ
4 繰越金	0	令和4年度からの繰越し
合 計	102,446	

（2）支出の部 （千円）

区 分	予 算 額	摘 要
1 総務費	4,086	実行委員会・幹事会・専門委員会 ・後催県指導会議開催費 等
2 開催事業費	81,975	実施計画作成、開催準備業務（御座所・CLTゲート等木製品製作費・招待管理・宿泊及び輸送準備等）、地域植樹開催（5箇所） 等
3 広報啓発費	16,385	周期イベント（1年前・200日前・100日前）開催、読み聞かせイベント開催、大会ポスター制作、イベント出展費、植樹祭だより発行 ノベルティグッズ作成 等
合 計	102,446	

3 複数年度契約について

開催するまでの間、継続して円滑に事業を推進する必要があるため、一部業務について、令和6年度の限度額を217百万円として令和5年度から令和6年度の2ヶ年度にわたり契約を締結することとする。なお、財源となる令和6年度分の岡山県負担金については、岡山県議会において、債務負担行為の承認の議決（R5.3.17）がなされている。